

劍第一五—二〇号

平成二十七年五月一日 金曜日

十時 月次祭

十時四十五分 鹿島流劍之道奉納

十三時 御田植祭 本殿及び御垣内御神田

十三時半 流鏑馬奉納奉告祭 奥参道入口

十四時 鹿嶋流騎射 流鏑馬神事 於 奥参道

# 鹿島流—劍之道

鹿島神傳直心影流

無雙直傳英信流

鹿島流斬法術

『日本書紀』には「多知加伎」「多知宇知」。刀剣をとって戦

う意味で「撃刀」と訓じられる。平安鎌倉期には「太刀打」、室

町期には「兵法」と呼ばれ、江戸期には「劍術」「剣法」「刀法」

という表現が使われた。明治期には「撃劍」、大正期になって初めて

劍道と呼ばれ、剣を用いる剣術は全て「劍道」という名称に統一された。

古流剣術も居合術も斬法術も竹刀を用いる剣術も皆、剣之道である。真

剣を以って定められた武技を通じ、身体を錬磨し、技術の錬達を計り、武

徳修養に努め、礼讓慈愛に富む質実剛健の精神を作興し、国家社会に貢献し

得る立派な人材を育成する即ち武之道を通じての処世の修養である。真剣を用

いた礼法を学ぶには最高の修行法である剣之道は日本の文化遺産である。二千年

の間、日本民族が武心で磨いてきた日本刀は日本人の宝である。剣は日之本を照らす。



抜刀道斬法術 鹿島流の理念を基に刀筋を合わせて斬る

奉納演武 一般社団法人 武道振興会 林佳夫撮影

THE TRADITIONAL SWORDSMANSHIP AT THE KASHIMA GRAND SHRINE

IN KASHIMA CITY, IBARAKI-PREF.

STARTING AT 10:45 AM ON MAY 1st, 2015